

No.36 キーワード: 鶏糞利用、一発処理剤(除草剤)、防除回数削減

(農)伯耆の郷

鳥取県西伯郡伯耆町吉長533-5
HP:<http://www.pref.tottori.lg.jp/12364.htm>(西部農業改良普及所)

基本情報

- ・ 気候: 山陰、中山間地
- ・ 土質: 壤土、排水良
- ・ 構成員: 27名(常時5名)
- ・ 臨時雇用: 年間約300時間
- ・ 飼料用米の作付開始: H26年産(知事特認「日本晴」)

品目	H26 作付 面積	H27 作付 面積	平均 区画
主食用米(移植)	10.1ha	2.9ha	17a
主食用米(直播)	0.1ha	0.25ha	25a
飼料用米(移植)	0.3ha	10ha	23a
作業受託	13.7ha	9.7ha	—a
アスパラガス	0.1ha	0.1ha	10a

経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 平成26年の米価格下落による売上減への対策(短期利益計画)について農業改良普及所から指導を受け、平成27年は限界利益の高い飼料用米(知事特認品種「日本晴」)を一挙に10haに拡大
- ・ 単収向上のため密植へ移行(株間24cm→18cm)
- ・ 鉄コーティング直播の試作(主食用米)、全筆(主食用米、飼料用米とも)安価肥料へ切替
- ・ 当面の経営規模目標は20ha(労力は現状維持)

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

品種: 主食用米「コシヒカリ」、「きぬむすめ」
飼料用米「日本晴」

- ・ 肥料
水稲全筆において、発酵鶏糞と硫安を用いた低コスト施肥(飼料用米は、出穂前の生育停滞期に増収のため硫安を追肥)

- ・ 農薬
 - ① 除草剤: 漏水防止対策(畦塗り、丁寧な代かき、排水溝の整備)の実施により、一発処理剤1回で除草し、後期除草を省略(40アールほ場で実証)
 - ② 殺虫殺菌剤: 箱施用剤と本田防除1回に回数を減

導入効果

- ・ 施肥
コスト ▲約6割
(前年との比較)
- ・ 防除
【除草剤】
コスト ▲約4割
(前年との比較)
【殺虫殺菌剤】
コスト ▲約2割
(地域慣行との比較)

支援体制

- ・ 農業改良普及所の限界利益による品目選定や収量確保とコスト低減を兼ね備えた技術等の指導
- ・ 地方自治体やJA等が県単町単事業により機械や野菜苗導入を支援
- ・ H28年度からは畦畔除草について構成員以外の協力を得る予定

課題・今後の目標

- ・ 資金繰を考慮した飼料用米の作付規模
- ・ 施肥の軽労化と効率化
(発酵鶏糞をペレット状に変更、発酵鶏糞+穂肥一発肥施肥(窒素単肥)の試行)
- ・ 米の収量への影響
飼料用米の収量向上対策が必要
- ・ 除草コスト低減のための漏水対策の実施拡大

法人事務所

